

1-2 伊豆衝突帯の地震活動調査によるプレート構造調査研究

(1) 平成 20 年度までの成果

- ・神奈川県内 6 箇所に地震計を設置し、観測を継続している。
- ・神奈川県西部地域に臨時観測点を 10 点配置し、衝突帯におけるトモグラフィーを実施した。この結果は本年度地震学会で発表し、地震研究所彙報特集号に投稿する予定。

(2) 平成 21 年度の実施計画と進捗状況

- ・地震研と調整の上、神奈川県内の 4 箇所予定点を決定した (図 1)。
- ・箱根火山を中心とした伊豆衝突帯における詳細な震源分布を、HypoDD で決定した。

(3) 平成 22 年度～23 年度の実施計画 (業務計画書記載に変更無し)

- 平成 22 年度：高精度震源分布、応力分布、速度構造や S 波スプリッティングなどの解析結果に基づき伊豆衝突帯周辺域の構造モデルを構築する。
- 平成 23 年度：高精度震源分布、応力分布、速度構造や S 波スプリッティングに基づき伊豆衝突帯周辺域の構造モデルを構築する。

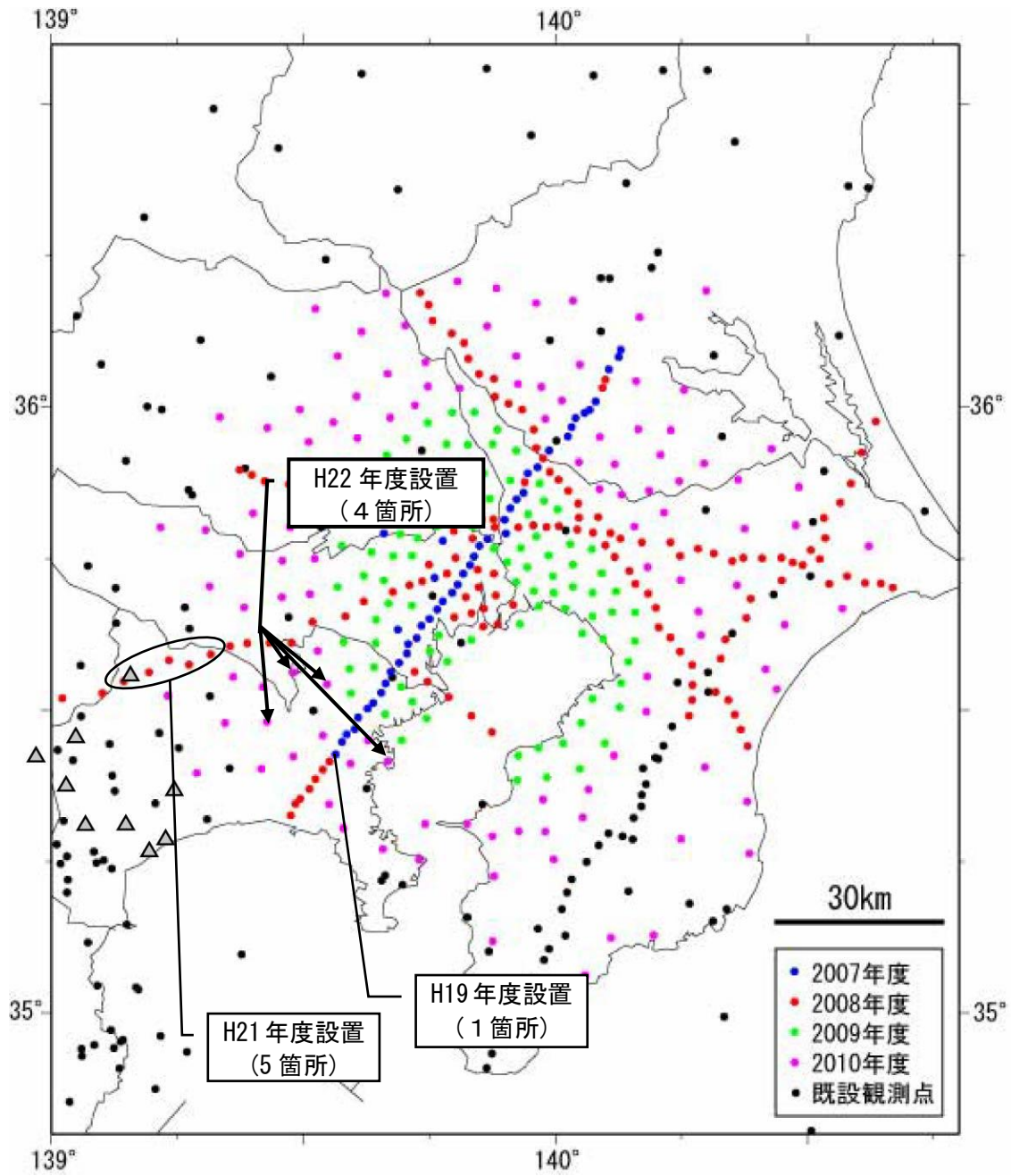


図1 首都直下地震防災・減災特別プロジェクト観測点配置と温地研 H21 臨時観測配置 (△)